



## 野生鳥獣由来の人獣共通感染症の実態把握、リスク評価を行うとともに、そのための基盤体制を整備します。

### 1. 事業目的

新型コロナウイルス感染症などの新興感染症の多くが野生生物を起源とすることから、国内における野生鳥獣由来の人獣共通感染症の実態把握や人獣共通感染症を媒介する野生鳥獣の生息状況等をもとにしたリスク評価等を行い、感染症対策としての野生鳥獣管理手法を提示することで、野生鳥獣による人獣共通感染症の人への罹患リスクを低減する。

### 2. 事業内容

#### ①国内における野生鳥獣由来の人獣共通感染症の実態把握

- 国内に生息する主な野生鳥獣を対象として、人獣共通感染症の感染可能性や野生鳥獣の利用実態を他機関による既存データ等も活用して把握し、対策の必要性をスクリーニングする。

#### ②野生鳥獣による人獣共通感染症のリスク評価

- 感染源となる野生鳥獣の管理を通じた感染症対策を進めていくため、野生鳥獣の生息状況（生息密度等）や病原体の国内分布状況等の既存データを活用して、人への感染リスクが高いとされるSFTS等の野生鳥獣による人獣共通感染症のリスク評価を行うとともに、感染症対策としての野生鳥獣管理手法を提示する。

#### ③リスク評価・情報発信等に関する基盤体制の整備

- 関係省庁、国内の研究機関・大学等との連携により、他機関による既存データ等も活用した野生鳥獣由来の人獣共通感染症に関するリスク評価・モニタリング、情報発信等を実施する統合的な基盤体制（プラットフォーム）を構築する。

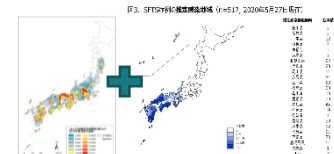
### 3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体
- 実施期間 令和3年度～令和5年度

### 4. 事業イメージ

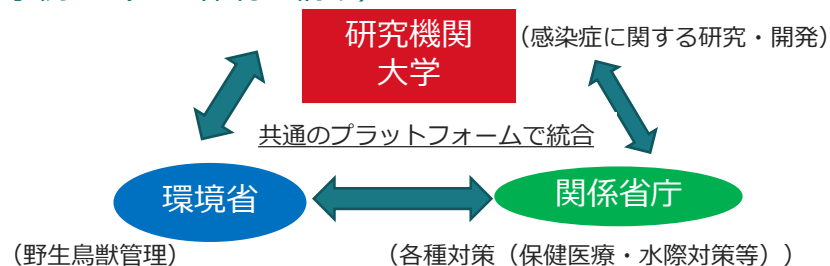
#### 事例1（野生鳥獣の生息状況等調査）

野生鳥獣の生息密度や病原体の抗体保有率等のデータから感染リスクを見える化。



（出典）厚生労働省、国立感染症研究所HPより

#### 事例2（基盤体制の構築）



年度	事業概要
R 3	利用実態調査、生息状況調査、リスク評価手法検討、基盤体制の整備開始
R 4	利用実態調査、生息状況調査（補足調査）、リスク評価
R 5	リスク評価結果のとりまとめ、基盤体制の構築